

チャペル週報

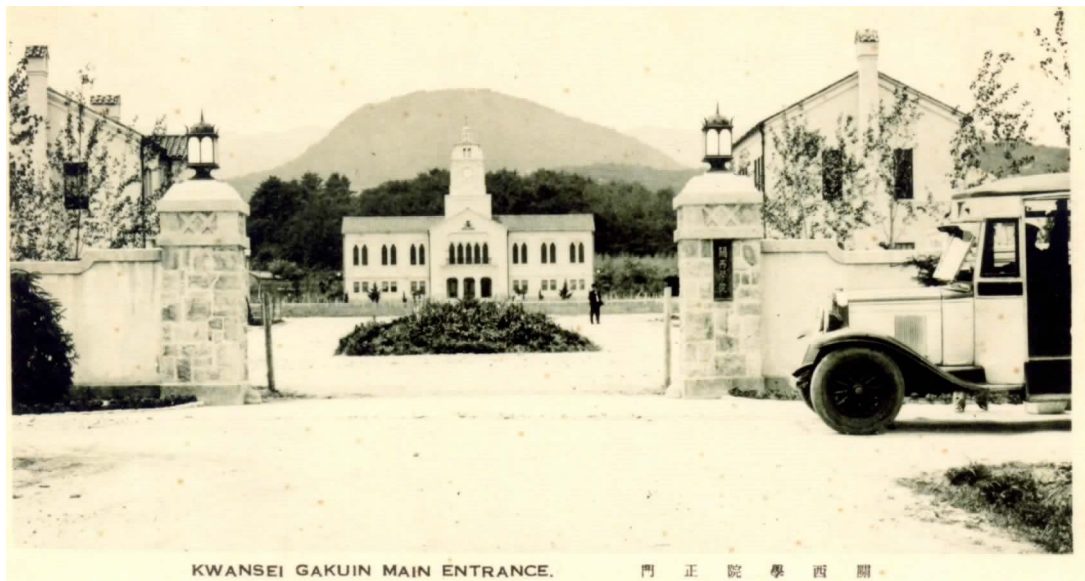
No.24

2022.12.5~12.9

わたしは大地に飢えを送る。それはパンに飢えることでもなく
水に渴くことでもなく

主の言葉を聞くことのできぬ飢えと渴きだ。

(アモス書 8章11節)



正門より甲山を望む (西宮上ヶ原キャンパス 1930年頃)

関西学院宗教センター

なぜ言葉を学ぶのか

住 政二郎

なぜ言葉を学ぶのか。なぜ英語を教えるのか。また、学ぶ必要があるのか、英語を教える教員として、折に触れて考える。コロナ禍、オンライン授業が普及し、その問いはさらに深まった。ネット上には無料で使える翻訳サービスが多くある。最近ではその精度もかなり向上した。教科書の英文などは、スマートフォンで撮影すれば、瞬時に日本語になる。音声に関しても、多言語の字幕を自動で生成できるサービスもある。ライティングに関しても、英文を書きながらスペルや文法チェックするのはもちろん、より英語らしい表現や言い回しを提案するサービスもある。技術は進化し、外国語間の往来にかかるコストは限りなくゼロに近づき、学生を英語学習者から英語ユーザーに変えた。膨大な時間と労力を費やして外国語を習得するコストは何のためだろうか。技術の進化は、バベルの塔すら凌駕したように思える。しかし、言葉の先にある異文化への理解、もう少し平たく言えば、異なるもの、見たことがないもの、味わったことがないもの、触れたことがないもの、他者への共感力や理解力は、どうだろうか。多言語を不自由なく操作できるようになったことで、我々はコミュニケーションを深めることに成功したのだろうか。世界情勢に目を向けるまでもなく、日常生活、日々の授業でも、全ての地に散らされた我々が、これまで以上に歩み寄り、ひとつになりつつあることを実感することは残念ながらない。むしろ渾沌と混乱は深まり、互いの参入障壁はより高くなり、もはや乗り越えようとする意志すらも根こそぎ奪ってしまっている気がする。なんとなく更新される日常、ふんわりと理解した気分、深く考えないことでリスクを回避する営為が、言葉の先にある実世界へ足を踏み入れることを阻んでいる気がしてならない。ネット上には、英語で読める、聴けるコンテンツが溢れている。しかし、入学するまで、教科書以外の英文を読んだことがない、教科書以外の英語に触れたことがない学生は驚くほど多い。こうした現実を目前に、「正解」のない言葉の実世界へ、学生たちを導く仕事はまだ少しは残されているのかと感じる。

(生命環境学部教授)

チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00
神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

12/ 5 月

大学合同アドベントチャペル～クリスマスを待ち望む
10:20-11:10 中央講堂（西宮上ヶ原キャンパス）
10:30-11:20 VI号館101教室（神戸三田キャンパス）
10:20-11:10 メアリーイザベラ・ランバスチャペル（西宮聖和キャンパス）

聖和 アドベント礼拝 立花・坂口クラス

6 火

神 高木 愛（日本キリスト教団 神戸北教会牧師）
文 Andreas Rusterholz（宗教主事）
社 クリスマスを前にして③ 望月 康恵（法学部教授）
法 山本 桂子（日本キリスト教団 但馬日高伝道所牧師）
経 冬の献血週間を覚えて 献血実行委員会
商 伊藤 秀和（商学部教授）
国 加納 和寛（神学部教授）
理・工・生環 ボランティア Week
総 Christian Triebel（宣教師、学長直属助教）
教 広瀬 康夫（宗教センター職員、グリークラブ技術顧問）

7 水

神 福留 洋平（神学研究科 M1）
社 クリスマスを前にして④ 水野 隆一（神学部教授）
法 平良 愛香（農村伝道神学校校長・平和を実現するキリスト者ネット事務局代表）
商 木原 桂二（宗教主事）
人 柴田 学（人間福祉学部専任講師）
国 寶劔 久俊（国際学部教授）
理・工・生環 上内 鏡子（日本キリスト教団 神戸イエス団教会牧師）
教 梶原 直美（宗教主事）

8 木

神 大田 詠子（国際連携機構事務部職員）
文 Andreas Rusterholz（宗教主事）
社 クリスマスを前にして⑤ 李 善恵（宣教師、人間福祉学部教授）
法 大宮 有博（宗教主事）
経 李 相勲（宣教師、経済学部専任講師）
商 堀江 有里（日本キリスト教団牧師・京都教区巡回教師）
人 Christian Triebel（宣教師、学長直属助教）
国 Chapel in English Eun Ja Lee（宣教師、国際学部教授）
総 村瀬 義史（宗教主事）
聖和 加納 和寛（神学部教授）

9 金

神 関西学院ハンドベルクワイアの演奏による音楽礼拝
文 Chapel in English Andreas Rusterholz（宗教主事）
経 世界人権デー（12/10）を前に 舟木 譲（宗教主事）
院 アドベント② 木原 桂二（商学部宗教主事）
理・工・生環 波部 雄一郎（関西学院大学非常勤講師）

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
12月9日(金)キリスト教と文化研究センターのために 加納 和寛(キリスト教と文化研究センター副長)
毎週金曜日、各テーマに沿ったお話を聞き、参加者で祈りを捧げています。学生・教職員の方々に
開かれた祈祷会です。ランバス礼拝堂とZoom併用で実施しておりますので、ぜひご参加ください。
Zoomでご参加希望の教職員・学生の方は、宗教センター(shukyocenter@kwansei.ac.jp)へ
①メールアドレス②お名前③所属④関学との関係(学生等)をメールでお知らせください。

●院長室から発信！ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

院長室からのビデオメッセージ「風に思う」の配信が始まりました。毎回、聖書の言葉を取り上げ、それが今を生きる私たちに何を語るか、短くお話しします。キャンパスの美しい風景と合わせて、関西学院の中心となる精神に触れてください。



(月2回程度で更新されます)

<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou>「風に思う」関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●大阪梅田キャンパスクリスマス

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパス(1405教室)では、大学院授業期間中の月1回木曜日にチャペルアワーを開催しています。

12月は曜日と時間帯を変更してミニコンサートとクリスマス礼拝を実施いたします。

【どなたでもご自由にご参加ください。】

12月7日(水)

17:00~17:20 クリスマス・ミニコンサート

演奏: ハンドベルクワイア / 1F ガレリア

17:50~18:20 クリスマス礼拝

司式・メッセージ 打樋 啓史(宗教総主事) / 1405教室

●冬の献血日のお知らせ(西宮上ヶ原キャンパス)

宗教総部では、冬の献血活動を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします!

とき: 12月8日(木)・9日(金) 10:30~11:30/12:40~17:00

ところ: 吉岡記念館ラウンジ

主催: 宗教総部献血実行委員会

●第224回ランバス演奏会「キャロルとララバイ」

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストです。ランバスチャペルに響く歌とリュートの音色をたっぷりお楽しみください。(入場無料/予約不要)

出演者: 平井満美子(歌) 佐野健二(リュート)

とき: 12月9日(金) 17:00~18:10

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主催: 関西学院宗教センター 0798-54-6018

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日(原則)の午前10時から関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っております。(12/25は休会です)

どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

12月11日(日) 10:00~11:30 クリスマス礼拝とコンサート

●関西学院クリスマス礼拝—音楽で祝う降誕—のご案内

関西学院最大のクリスマス行事として1976年から開催しています「関西学院クリスマス礼拝」が3年ぶりに従来の規模で開催出来る運びとなりました。是非ともご参集ください。

(礼拝後、中央芝生でのキャロリングも復活いたします!)

日 時：2022年12月15日（木）16：30開場 17：10開始 18：30終了
 会 場：関西学院中央講堂～中央芝生
 内 容：礼拝・・・聖書朗読と音楽で綴る降誕物語とクリスマスメッセージ
 キャロリング・・・礼拝後に中央芝生の時計台前で輪を作り、
 キャンドルを灯してクリスマスキャロルを歌います。
 合 唱：聖歌隊、グリークラブ、ウィメンズ・グリークラブ、エゴラド、高等部グリークラブ、
 中学部グリークラブ、KG 合唱の会、ベーツホールクワイア
 演 奏：ハンドベルクワイア、応援団総部吹奏楽部
 主 催：関西学院 企画・構成：宗教センター
 問合せ：宗教センター tel.0798-54-6018 <入場無料/予約不要>

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

3年ぶりに関西学院最大のクリスマス行事が大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。

参加費（入場料）は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

日 時：2022年12月20日（火）17：30開場 18：30開始 20：50終了

会 場：ザ・シンフォニーホール（大阪市北区大淀南2-3-3）

内 容：第一部・・・聖書朗読と音楽で綴る降誕物語とクリスマスメッセージ
 第二部・・・学院の音楽団体とゲストによるクリスマスコンサート

参加費：2100円 当日座席指定（16：30より座席券と交換）

チケット販売 ＊関西学院大学生協 tel.0798-53-5150（NUC, KSC, NSC で販売）

＊チケットぴあ Pコード 226-572

＊ぴあ取扱いのコンビニエンス・ストア：

セブン・イレブン、ファミリーマート

＊ザ・シンフォニーチケットセンター tel.06-6453-2333（火曜定休）

（ザ・シンフォニーホール内）

主 催：関西学院 共 催：関西学院後援会・関西学院同窓会

問合せ：関西学院宗教センター tel.0798-54-6018

●ボランティアに関心がある皆さんへ（ヒューマン・サービス支援室からお知らせ）

単発のボランティアや継続して関わるボランティア団体・サークルの紹介をしています。

[ボランティア参加までの流れ]

https://www.kwansei.ac.jp/c_volunteer/c_volunteer_m_001740.html

[相談予約・お問い合わせフォーム]

個別にボランティアの紹介や相談対応をしています。

<https://onl.tw/UBvnyqX>

●CD・DVDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。

本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●「チャペル週報」のバックナンバー（2005年以降）は下記で閲覧できます。

URL：<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/weekly/>

関西学院宗教センター

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>

